

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2018年度（平成30年度）		科目名	イラスト・絵本実習	
科目基礎情報							
開設学科	グラフィックデザイン科		コース名		開設期	後期	
対象年次	1年次		科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	2 単位		授業形態	実習			
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。						
担当教員情報							
担当教員	富所 利菜			実務経験の有無・職種	有・イラストレーター		
学習目的							
実際にアナログ制作に使用する道具を使い、基本的なワークフローを交えながら、イラストレーションの描画を行う。制作を通じて、絵の具、筆、紙、キャンバスといった、道具の扱い方を学ぶとともに、課題となるテーマを、自身の中で昇華し、イラストレーターとしてグラフィックデザインの中での魅せ方について、必要な表現力を学ぶことを目的としている。							
到達目標							
イラストレーションコースのスキルとして以下のことを目標としている。 ①課題となるテーマに対して、制限の中で表現できること、何が求められているかを模索することができる。 ②浮かんできたイメージをアウトプットし、教員、学生間でコミュニケーションをとりながら制作できること。 ③道具の使い方のHOWTOを知り、それぞれの道具の特徴を知ること。 ④提出期限を厳守し、完成したイラストについて明確に説明できること。							
教育方法等							
授業概要	実際に手を動かし、アナログでの課題制作を行う。個人ワーク主体ですすめ、場合によっては屋外での作業も行う。グラフィックデザインのなかでのイラストレーションのあり方について学び、発案、制作相談、検証、発表、評価を行う。この授業に主体的に参加することで、イラストレーションの描画のフローの基礎を学ぶ。						
注意点	より良いイラストレーション制作に必要な学生間・教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題完成度	60%	提出課題の完成度を評価する				
	相談検証	10%	制作準備と過程を評価する				
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	キャラクターデザイン①			講師紹介・イラストレーターの仕事の内容を理解できる			
2回	キャラクターデザイン②			目で見たものをスケッチし、紙の中で構成できる			
3回	抽象イメージからの描画①			ラフを元に、下書きを書くことができる			
4回	抽象イメージからの描画②			目の前の物体を見ながら、着色をすることができる			
5回	抽象イメージからの描画③			技法を用いて、屋内の描画のテクニックを学ぶことができる			
6回	抽象イメージからの描画④			課題内容を理解し、リサーチして、モチーフの情報を収集することができる			
7回	連作作品制作①			ラフを具体化し、キャンバスに表現することができる			
8回	連作作品制作②			下書きを元に、着色をすることができる			
9回	連作作品制作③			制作物を完成提出、発表説明することができる			
10回	連作作品制作④			目的と用途を理解し、こととリサーチを行い複数の提案原案を作ることができる			
11回	連作作品制作⑤			情報を整理し、複数の提案サムネイルを検証することができる			
12回	イラストレーションとデザイン①			提案サムネイルを元にラフスケッチとして制作することができる			
13回	イラストレーションとデザイン②			ラフを元に、下書きを書くことができる			
14回	イラストレーションとデザイン③			下書きを元に、着色をすることができる			
15回	イラストレーションとデザイン④			制作物を完成提出、発表説明することができる			